

主催/社会福祉法人あかねの会

後援/練馬区教育委員会・あかねの会後援会「心の鐘」



発達支援部

# 日米で蔓延する いじめ問題と発達障害

10/19(木)

10:00~12:00

- ・ 定型発達生徒のいじめ
- ・ 発達障害児のいじめ認知欠如
- ・ 傍観者の心理や家族背景、加害者の家族背景
- ・ 中学生でいじめが多い原因が思春期の脳にあること
- ・ 日本の教育現場の問題点、日本への提言など

子ども同士でのいじめが後をたたない現代。他人への共感を欠く「いじめ」がおこる背景に、発達障害の側面からアプローチし、どうすれば「他者視点」を持てるようになるのか、アメリカでの最新事情も含めてご講演いただきます。



講師

コミュニケーションセラピスト  
カニングハム久子先生

日時:平成29年10月19日(木) 会場:Coconeri(ココネリ)研修室1  
10:00~12:00 (9:30~受付開始) 定員:130名  
(西武池袋線・都営大江戸線 練馬駅北口徒歩1分)

参加費:500円

## お申し込み

お申し込みは、下記の情報を [seminar@akanenokai.com](mailto:seminar@akanenokai.com) にご送信下さい。FAXでも承ります FAX:03-3999-3955

1. カニングハム久子講演会 参加希望
2. 代表者氏名 他 何名
3. 電話番号(連絡先)
4. FAX番号(必要な方のみ)



QRコードでも  
お申し込み  
メール出来ます。

※いただいた個人情報は、講演会開催の用途に限って利用し、厳重に保管します。



社会福祉法人  
あかねの会  
発達支援部

# 具体的な開催趣旨

カニングハム久子先生は、コミュニケーションセラピスト・教育カウンセラーとして、長年ニューヨークで親と子の支援を続けてこられました。

子育てが難しくなっている現代の子どもを、他人に共感する気持ちを持ち、社会のルールを守れる大人に育てるためには、何が必要なのでしょう？親や周りの大人にはどのような役割があるのでしょうか？思春期の脳の特性と発達障害の視点からアプローチし、どうすれば「他者視点」を持って人と関わることができるようになるのか、ご講演いただきます。



カニングハム・テレーズ・久子先生

## プロフィール

1934年長崎県生まれ、ニューヨーク在住。

同志社女子大学英文学科を卒業後、一般企業に就職したのちアメリカに留学し、ニューヨーク市立ハンター大学で修士号を取得。ニューヨーク医科大学教官を経て、ニューヨーク州ウェストチェスター郡立医療センター視聴覚臨床センター教育プログラム主任に就任。ニューヨークで半世紀にわたり障害児教育の第一線で活躍。

1974年全米精神遅滞研究協会第10地域最優秀臨床教育賞受賞。

1990年日本顕彰会より国際的貢献の分野で受賞。

1992年 United to Serve America よりアメリカ社会への貢献が認められダイヤモンド賞受賞。

1992年日米教育交流の促進に尽力したことにより外務大臣賞受賞

<著書>

「変貌する家族」第六巻「異文化のなかの家族」(岩波書店刊)

「ニューヨーク障害児教育事情」(学習研究社)

「対話できない教師・叱れない親」(学習研究社刊)

「異国に生きる・カニングハム久子 愛と魂の軌跡」(エスコアール出版部) / 他

<翻訳>

「我、自閉症に生まれて」(テンブル・グランディン著)

「自閉症の才能開発」(テンブル・グランディン著)

「いじめ・逆境に強い子を育てる10の心得～“立ち直り力”の成長を阻む事例一挙97紹介」(ロバート・ブルックス著)

## 当日のタイムスケジュール

10月19日木曜日

会場:Coconeri研修室1(練馬駅北口下車1分)

9:30～ 受付開始

10:00～ 講演

11:30～ 質疑応答

12:00 終了

## 申込みの締め切り日などの注意事項

- ・メールまたはFAXでお申込下さい。
- ・定員になり次第、締め切ります。
- ・受講料は当日受付でお支払いください。領収証を用意しております。
- ・保育はありませんが、会場後ろに赤ちゃんスペースを用意しますので、赤ちゃん連れの方は事前にその旨お知らせ下さい。

主催・お申込・お問合せ：社会福祉法人あかねの会 発達支援部

〒179-0075 練馬区高松2-26-6 サングリーン高松2階

TEL：03-5933-9209 FAX：03-3999-3955

後援 練馬区教育委員会・あかねの会後援会「心の鐘」